

ふれあいミーティングを 9団体と実施

～町長とまちの課題について意見交換～

「町民の参加と協働のまちづくり」を進めるため、町民と町長が直接対話し、まちづくりの課題などを共有することを目的に「町政懇談会（ふれあいミーティング）」を毎年開いています。

7月から12月にかけて、町内会や事業所、町内各種団体等の希望に応じて、町長が皆さんの活動の場へ出向いて懇談する形で開催し、9団体、60人にご参加いただきました。

ここでは、参加者から寄せられたご意見やご要望を抜粋、要約してご紹介します。各意見に対する回答については、現在までの情勢の変化などを反映させた内容に手直ししていますので、ご了承ください。



涼み処開設（農村環境改善センター）

暑さ対策・涼み処

Q 病院に入院した際、窓際にスポットクーラーが設置されていたが、窓際と廊下側では室温に差があった。働く人も苦労していた。スポットクーラーをうまく活用してほしい。

A 夏は西日が差し込んでくるため、室温が上がります。病院と協議して改善に努めてまいります。

Q 涼み処になかなか入れずにいる。利用しやすい工夫をしてほしい。

A 広尾町の公共施設はエアコンが設置されていないところが多く、民間の事業所にお願いをして開放してもらっている状況です。今後公共施設に優先順位を決めてエアコンを設置していきます。

ふるさと納税・クラウドファンディング

Q ふるさと納税の寄附額が年々減っている。なぜ減っているのか。

A 令和2年度は1億5千万円でしたが令和6年度は5千万円ほどでした。令和2年度は返礼品として毛ガニを提供出来ましたが、令和3年度以降は、赤潮の影響により漁業が不振となり、毛ガニやししゃもが十分に提供できませんでした。その中で、イクラを返礼品として提供していました。他のまちに比べると割高で寄附を集められませんでした。他のまちでは同等商品でも輸入品を自分のまちの工場で加工し、安価で返礼品として提供していました。輸入品でも加工が自分のまちの工場であれば、返礼品として提供できる仕組みです。

Q 魚介類だけでなく、バターやチーズなど乳製品を返礼品として提供できないか。

A 広尾産の生乳を大樹町の工場で加工し、チーズにして提供しています。加工は大樹町ですが、パッケージをサンタランド仕様にする



ふるさと納税返礼品カマンベールチーズ

ことで広尾町の返礼品として提供できています。また、広尾産の和牛を使用したハンバーグも返礼品として提供しており、今後は和牛の展開もできるような事業者の方と協議してまいります。

Q クラウドファンディングでの事業は議会を通してではなくてよいのか。

A 歳出予算を伴うものは議会に提案します。集めた寄附をどのように活用するかは引き続き説明してまいります。

地域公共交通

Q 路線バスに誰も乗っていないのをよく見る。バスを小さくしコストを削減できないか。

A 現状小さくすることはできません。学生の通学や帯広につながる路線であり、需要があります。平日の朝、広尾から乗る人は少ないですが、帯広に行くにつれて乗る人が増えていきます。

Q スクールバスは小さくできないか。

A バス入れ替えの際には現在より小型の車両を検討します。

Q タクシー券を使いたいたときに使えていない。待ち時間が長かったり、断られることがあり、交通の便に困っている。

A 町内にタクシー会社は2社ありますが、利用者が減っており運行時間が短くなったり、台数が減っている状況にあります。

Q 日曜日はタクシー会社が休みで町のイベントに参加するための足がない。ライドシェア等を検討できないか。

A 現在、タクシー・バスの事業者を含めた地域公共交通会議を開催し、新しい交通形態として、コミュニティバスやデマンドバスを検討しています。民間事業者の営業に支障がなく、市民の求める形態を模索中です。

防災対策

Q 災害時、音調津定置番屋に避難するが耐震性に不安がある。大地震で倒壊することを考え、プレハブ小屋等簡易的な施設でよいので、早急に整備してほしい。

A 地域の皆さんの声を聴いて、どのような施設がよいか検討していきます。



ふれあいミーティングの様子（5団体合同）

空き家問題

Q 空き家に蛇が住み着いたり、イタドリが伸びていて不衛生な状態になっている。持ち主を特定し対処できないか。

A 持ち主死亡や持ち主不明の空き家・空地は相続人等を特定して連絡を取り、問題があれば改善等をお願いしています。また、空き家を手放したい方は取り壊しの補助制度や空き家バンクの活用ができる場合があります。まずは役場へご相談ください。

ごみの処分

Q 生前整理時にごみが多く出る。ごみの処分を安くできないか。また、家電の処分に困っている。帯広で購入した家電を広尾町内の業者が引き取ってくれなかった。

A 豊似のごみ処理センターは大樹町と共同運営していますので、広尾町だけ安くすることはできません。大型家電の引き取りは買った店での引き取りが一般的です。ぜひ広尾町内の店舗で購入してください。

十勝港

Q 十勝港の借金を年3億円返しているが、利用料は年どのくらいか。また、今後増えていく予定なのか。

A 利用料は年1億5千万円ほどで、今後増えていく予定です。十勝港のさらなる利用拡大を進めていきます。

Q 旅客船の運航はあるのか。

A 過去にはありましたが、現在はありません。農業王国と呼ばれる十勝を背景に十勝港の活用促進を行っていきます。

合同墓地

Q 合同墓地の進展はあるか。

A 今年度実施したアンケート結果を集計しているところです。町が設置し運営するため毎年の供養等がないことなど町民の皆さんの合同墓地についての理解を深めていきます。



<開催結果>

開催日	実施団体	参加人数
7/26(土)	ボランティアグループ たんぽぽの会	13人
10/18(土)	つつじが丘町内会・丸山5丁目町内会・桜ヶ丘町内会・丸山南7丁目町内会・丸山7丁目シルバークラブ長寿会 5団体合同	20人
11/24(月・祝)	豊似老人寿会	7人
12/6(土)	紋別老人クラブ	14人
12/24(水)	音調津町内会 第6班	6人
実施団体 9団体 ・ 参加者数 60人		

お問い合わせ
企画課 企画防災係 TEL 2-0184